

# 新港地区防災マップ (令和7年版)

## 凡例

- 津波浸水想定区域**
- 20.0m 以上
  - 10.0 ~ 20.0m 未満
  - 5.0 ~ 10.0m 未満
  - 3.0 ~ 5.0m 未満
  - 1.0 ~ 3.0m 未満
  - 0.5 ~ 1.0m 未満
  - 0.3 ~ 0.5m 未満
  - 0.3m 未満
- 洪水浸水想定区域**
- 10.0 ~ 20.0m 未満
  - 5.0 ~ 10.0m 未満
  - 3.0 ~ 5.0m 未満
  - 0.5 ~ 3.0m 未満
  - 0.5m 未満
- 石狩川水系石狩川 洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す  
 新川水系新川・中の川・琴似寒川・琴似川洪水浸水想定区域(想定最大規模)を示す
- 指定緊急避難場所**  
 指定緊急避難場所・指定避難所  
 福祉避難所  
 津波避難場所
- 警察**  
 病院  
 消防署・消防団  
 公民館・研修センター  
 福祉・児童館  
 幼稚園・保育園  
 文化・教育施設  
 公園  
 一般国道  
 主要道路

## 防災用資機材セット

- 消火器 5本
- 消火バケツ 10個
- のこぎり 1丁
- おの 1丁
- ハンマー 1丁
- 金てこ 1本
- 剣先スコップ 5本
- かませ木 2本
- ロープ 2本
- ジャッキ 1台
- ボルトクリッパー 1丁
- 折りたたみ式担架 2台
- 救急セット 1式
- 道具台車 1台
- トランジスタメガホン 1台
- ラジオライト 1台
- ヘルメット 10個
- 防水シート 3枚
- 資機材収納箱 1台

## 備蓄品の確認

会社で用意しておかなければならないものをメモしておきましょう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

津波避難場所	住所	電話番号
② 石狩消防署石狩湾新港支署	志美 65 番地 2	62-3127
③ 石狩市防災ひろば	志美 65 番地 48	-

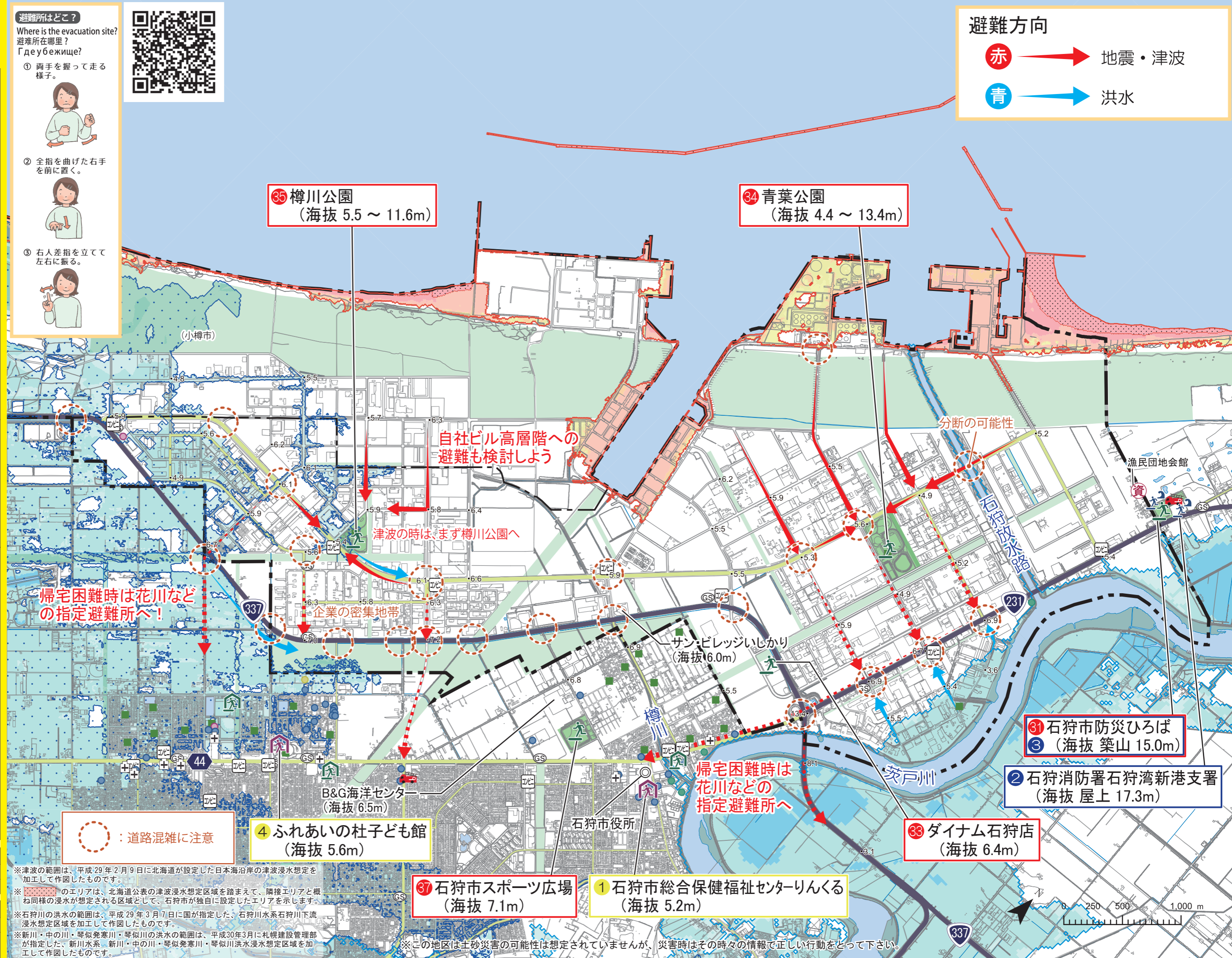
福祉避難所	住所	電話番号
① 石狩市総合保健福祉センターりんくる	花川北 6 条 1-41-1	72-8343
④ ふれあいの杜子ども館	樽川 4 条 1-600-1 石狩ふれあいの杜公園内	77-5590

避難所はどこ？  
Where is the evacuation site?  
避難所在哪里？  
Где убежище?

① 両手を握って走る様子。

② 全指を曲げた右手を前に置く。

③ 右人差指を立てて左右に振る。



指定緊急避難場所	災害の種類							指定避難所	住所	電話番号	災害時組織体制				集合場所	集合場所責任者	一時避難場所
	地震	津波	高潮	洪水	まちの浸水	土砂災害	大火事				役割	責任者	役割	責任者			
④ 青葉公園	○	○	○	○	○	○	○	○	新港南 3-706	-	災害対策本部長		避難誘導班				
⑤ 樽川公園	○	○	○	×	○	○	○	○	新港西 2-784	-	副本部長		救出救護班				
※ 地区以外の指定緊急避難場所											総括班		消火班				
① 石狩市防災ひろば	○	○	○	○	○	○	○	○	志美 65-48	-	情報連絡班		点検・修理班				
⑧ ダイナム石狩店	○	○	○	○	○	○	○	○	新港南 2-729	-	広報班		( )				
⑦ 石狩市スポーツ広場	○	○	○	○	○	○	○	○	花畔 337-3	-							

※まちの浸水とは、降雨量が小河川や下水道等の流れる能力を超えた場合に、建物や道路が浸水することを指します。※表中の記号は、「○」：現象に対応できるもの、「×」：現象に対応できないもの、「△」：施設の安全が確認された後に使用する施設であり、耐震条件を満たしたもので、「▲」：2階以上の避難について現象に対応できるもの」を表しています。

この防災マップは、皆さまの声をまとめたものです。

# 新港地区の『防災の心得』

※この「防災の心得」は、皆さまの声をまとめたものです。

## 平常時

1 防災訓練で備える！

想定にとられることなく、日頃から防災訓練を実施して、災害時に備えましょう。複数企業での合同訓練も行いましょう。

4 備蓄品の用意！

一定期間、自社施設で待機できるよう、企業ごとに非常食や生活物資を用意しておきましょう。

2 避難先・避難方向を決めておく！

車で避難する場合、渋滞を避けるために、予めエリアごとに避難先・避難方向を決めておきましょう。

5 BCPの策定！

災害によるリスクを最小限に抑え、事業の復旧・継続のための準備をしましょう。

3 防災連絡網の整備！

企業間で災害情報を共有し、迅速な行動ができるよう、企業間の防災連絡網を用意しましょう。情報収集手段を事前に確認しておきましょう。

6 帰宅困難者への対策！

災害時、自社施設内で待機できるよう、日頃から用意しておきましょう。帰宅困難時の家族との連絡方法を事前に確認しましょう。

1 まずは情報収集！

迅速で適切な行動ができるように、まずは情報を収集しましょう。

4 乗り合わせて避難を！

車で避難する際は、自社社員や近くの人と乗り合わせて避難しましょう。

2 広い場所や指定緊急避難場所へ！

地震発生時は、広い場所や指定緊急避難場所へ避難をしましょう。

5 帰宅困難時は待機！

帰宅困難時は、むやみに移動せず自社施設内で待機しましょう。

3 津波情報が出たら、海から遠く、高い場所へ！

津波情報が出たら、海から遠く、高い場所へ避難しましょう。身の危険が迫っている場合は、身近な高い建物に留まりましょう。

6 他地区との連携！

災害時は、新港地区以外の他地区と連携を図り、石狩市内全体で助け合いましょう。

## ＜新港地区＞地区防災マップの使い方

- 1 地区内の危険をチェックしよう。  
(津波、洪水、土砂災害など)
- 2 会社の場所をチェックしよう。
- 3 近くの避難所をチェックしよう。
- 4 会社からの避難ルートを書いてみよう。

※付録の材料を使ってマップを完成させよう！

※地区防災ガイドを詳しく見てみよう！



「いしほ!」※ダウンロード画面では「ライブビュー」と表示されます。スマホにインストールして使用するアプリです。災害時の緊急情報や市からのお知らせをアプリ通知で受けとれるほか、市の施設予約や各種サービスへ素早くアクセスすることができ電子回覧板機能も利用できます。